

**6月定例
市議会**

新病院予算 自民党系会派が「否決」

反対のための反対では 市民の命と健康は守れません

「市議会は新病院予算を通して早く建設して」の願いを込めた市民病院関連予算の議案は6月29日の本会議で、またもや自民党系議員の反対で予算削減や否決となりました。「反対は変わらない」という主張の繰り返しで「反対のための反対」の固執。これでは市民の命と健康は守れません。引き続き、市民のみなさんと新病院建設へがんばります。

市民の願いと大きく乖離する態度の政風会など自民党系会派は、またもや病院事業予算を否決（削減）しました。しかも、まともな理由も対案も示せず「反対のための反対」に終始しました。

今議会に提案された予算案は、病院建設が5階から6階になったことや免震構造に変更されたことにより86億から91億になっていますが、国土交通省からの社会資本整備総合交付金が今年度で5200万円、今後約10億円交付される事により、実質的に当初予算額より軽減される予算案でした。

反対の議員は、「駅前がダメ。公立病院ではなく、民間病院や行政独立法人」など言いますが、現野洲病院の現状や医療機関との連携を考えると地域包括や生活サポートが出来24時間安心して受けられ

る医療体制を早期に確保していかねばなりません。人口5万人の本市には中核医療病院の建設は待つたなしの状況です。

なにより公立病院の採算性等の面から民間医療機関（病院）による提供が困難な医療を提供する事になります。総務省自身、公立病院の役割について、「民間病院が行わない不採算医療を提供することで地域住民が安心して暮らせる環境がとくられる」としています。高齢化社会で老老介護が進む中で交通アクセスの利便性の良い場所が最適ではないでしょうか。また若者が野洲市に住みたいと思う子育て安心の野洲市のためにも中核医療機関はどうしても必要です。

国では財源削減の面から公立病院改革ガイドラインを策定し都道府県に公立病院の再編や民間化な

どを迫っています。しかし、滋賀県では今後の病院の病床数について、「人口推移から見ても湖南地区は人口増加率や高齢化率から行く」と新野洲市民病院の199病床数は必要」としています。だからこそ県も国土交通省もこの計画が病院事業として成り立つ事を認め社会資本整備交付金の内示に至ったのではないのでしょうか。

市民の切実な願いを前に進めるのか、願いに背を向けるのか、いま市議会に問われています。市民懇談会でも早期建設の声が圧倒的でしたし評価委員会の専門部会でもこの計画は妥当だとされました。

今議会で自民党系会派により「予算否決」となり残念ですが、引き続き、みなさんと力を合わせ市民病院の早期建設へがんばります。

**民主主義
根幹否定**

政風会ら反対10議員が前代未聞の暴挙！ 住民投票に市議会が条件を付け介入

野洲市の住民投票条例では市政の重要課題について、市長、議員、市民の三者、いずれからも「住民投票実施を請求できる」権利が規定されています。請求要件が満たされれば実施されます。今議会では市長から、新病院建設で議会の態度と市民との乖離を「市民に問う」として住民投票実

施を提案。そのための予算も全議員賛成で可決されました。

ところが政風会ら10議員は、「投票結果に条件」を付ける付帯決議を可決しました。付帯決議そのものに拘束力はありませんが、市議会が実施前に請求者に「条件をつける」ことは住民投票制度を歪めるもので、民主主義の根幹を否定

する前代未聞の暴挙です。

今後、市民が住民投票を請求した場合でも、市議会が事前に条件をつけるようになりかねません。

つまり、議会の住民投票への介入となり、市民発議の委縮につながります。まさに民主主義の危機です。市議会の役割と議員の資質が鋭く問われています。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2017年7月2日 301

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX) 588-3169
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索